

夏休みと水ぼうそう

林田 麗愛

あさおきるとからだに、へんなぶつぶつが3つ・・・。

「なんじゃこりゃー。」

かゆいような気がした。

はじめに、昼しんどくなつて、し水先生に言った。ねつが三十八ど。ぶつぶつが2こ、3こふえた。

つきにお母さんがむかえにきてくれた。

しこでけっこうむかえがおそかった。

「おそいなー。」

と思つているときに、おかあさんがすこく、あせだくでいきが、はあはあしてきてくれた。

それから、びょういんで、

「水ぼうそうです。」

と言われた。のみぐすりとぬりぐすりがでた。くすりは、オロパタジン、バルトレックス、カロナール、ぬりぐすりは、カチリ。

カチリをずーと、ぬらないとなおらないし、あとにのこると言われた。かえるとぜんらになつて、からだじゅうにカチリをぬつてもらつた。カチリはめっちゃくさい。そのあと、ねむくなつてねってしまった。

おきると、かおにもあしのうらにもものどにも、からだじゅう、ぶつぶつ。白だらけになつていた。おかあさんが、しゃしんをとつた。

水ぼうそうで外にできません。うみりよこうにいくよてい

だつたけど、いけなくなつてしまった。かなしかつた。でもお母さんが、

「またいこうね。」

といつたので、

「またいけるならいつか。」

と思つた。

おにいちゃんも、カチリをぬつてくれた。白いくすりだからだに絵もかいてくれた。みんなでわらつた。

水ぼうそうダンスをしようといつて、いっしょにおどつた。

「ワン、ツー水ぼう。」

「ワン、ツー水ぼう。」

おどりは、たのしかつたけど、水ぼうそうは、いやだ。

それからよる、五日ぶりにそとへでた。ほしさがしのさんぽへいつた。

夏休みに水ぼうそうになつて、どこにもいけなくなつてしまつて、ほんとうは、かなしかつたけど、かぞくが、たくさん、楽しく思い出を作つてくれた。

かぞくにありがとうを思う。

わたしも、かぞくが、びょうきになつてもぜつたいお手つだいをして、楽しい思い出をつくりたいと思つた。

水ぼうそうは、なおつたけど、あとがまだ四つ・・・。なおるのかなあ。